

## フジとノーリツのサービス中止に伴い参入増えるネットプリント

組合システムの充実やクロスワンの本格展開、変わらずに順調に浸透するプリンクスやデジタルビューなどネットプリントサービスを取り巻く環境は厚みをましている。今回はフォトネクストにも出展するエグゼックと中外写真のネットシステムの現状および新規参入となるアプリネットを掲載する。

**営業提案までフォロー  
一するエグゼック社**

まず、主に学校関係などに最適なシステム「フォトストア」を提案するエグゼック。現段階で160店程度の写真館などがシステムを取り入れている。もともとはシステム開発会社としての基盤に立っているため、セキュリティやサポート体制を得意としているが、サービスの大きな特徴は、充実した付帯サービスにある。写真館や写真店が営業に回る際のプレゼン資料の用意。場合によってはシステム担当者として同行もする。販促キャンペーンもエグゼック負担で行う。また「知っとく便」(写真)の名の下に、バージョンアップの知らせをこまめに顧客にメールで知らせるとともに、フォトストアを活用しての売上アップ事例をタイムリーに案内して参考にしてもらう。直近では子供向け自然体験ツアーを企画している会社が、震災の影響で大幅なキャンセルが出る中で実施したイベントで、フォトストアを導入して写真を販売したところ注文数150件。売上108万円と過去最高を記録したという声が寄せられていた。この事例も参考になりそうだ。同社のシステムの中で最も写真店に向くのがフリープラン。初期費用15,750円。月々ロイヤリティ9%を支払う形となる。


**業界での信用度  
で集客する中外**

このエグゼックが異業種からの参入組だとすると、業界の老舗として中外写真薬品が手がけるのが「中外ネットプリントシステム」である。同社は、何と言っても業界でのブランドがあり、安心感があるのが強み。システム的には、従来からフォトブックあるいはTシャツ製作などを手がけているため、そのノウハウも活かしている。導入費用も他社と比較してもかなり値頃感がある。配布用CD100枚が付属している。ネットプリント業務自体は後発ということになるが、その分、開発にあたってセキュリティなどにも十分に配慮している。簡単フォトブックサービス、ポストカードサービスなど多くの機能も備えている。対応ミニラボもノーリツから富士フイルム、エプソンのイージーラボまでと柔軟。フォトブックにはキャラクターフォトブックを加えるなど確実にバラエティを増

